



# 海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校～

5月号

令和4年4月28日

さいたま市立海老沼小学校



## After Bloom festival

校長 大島 恵美

花絵の制作風景

毎朝、子どもたちを校門で迎える時に、校庭を眺めると、渡り廊下がちょうど「額縁」のように見え、1枚の絵のようになります。

私が海老沼小学校を初めて訪れた日は、校庭のサクラの花のピンクが広がっていましたが、今は、昇降口前のケヤキの葉の「若草」色が、さわやかな5月と、子どもたちの成長を感じさせます！すてきな季節になりました。

1年生は、少しずつ学校に慣れ、元気よく学校生活を送っています。「校長先生！見つけたよ。」ときれいな花びらや葉を拾ってきては、大切そうに見せてくれます。

4月24日（日）に中川にある中山神社で「After bloom festival（アフターブルームフェスティバル）」が行われました。今年から始まったイベントで、散ってしまった花びらを下絵に貼って作成する「花絵づくり」に本校の子どもたちも参加しました。

もともと、見沼区では「見沼区オープンガーデン」を2015年から開催しています。本校の学区内でも何軒か参加されていました。今回のフェスティバルは、このオープンガーデンの花びらを再活用し、絵を作成し堆肥作りを行う中でSDGsを目指すことが、目的のひとつとされています。また、「さいたま市の花とみどりのまちづくり」のさらなる展開にもつながることも考えられ実施されました。

本校の花壇も、環境委員会の子どもたち、PTAの環境保健委員の皆様のおかげで、季節の花々が美しく咲いています。今回のフェスティバルにも、春に咲き終わった花を提供しました。

まだまだコロナ禍ではありますが、感染症拡大予防を行い、少しずつ「楽しめる」イベント等が復活してきています。また、5月1日（日）はさいたま市民の日です。ゴールデンウィークの間、さいたま市内では多くのイベントが行われます。コロナ感染症拡大防止対策をした上でご参加してみたいはいかがでしょうか。